

2012年度前期授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—全学共通科目—

共通教育運営委員長 篠原光伸

2012年度前期・科目開設部門別集計結果の「全学共通教育」を見ると、「総合的にこの授業を評価できる」の項目が、4.48 とかなり高い数値を示している。この数字は他の開設部門の同項目と比較しても高めである。このひとつの原因は、全学共通教育科目の場合、学生が自分の興味にしたがって自由に選択しているところにある。「この分野の関心と学力が得られた」の項目の高い数値についても、同じことが言えよう。

これに対して、「全学共通教育」部門に限られたことではないが、「予習または復習をよくした」の項目の数値がやや低めである。教員、学生ともに改善の努力が望まれるところであろう。

「体育実技」部門を見ると、いずれの項目でも他の部門より高い数値を示している。これはひとつには授業形態の特殊性に由来するものであろう。また、履修者がふだんから運動に親しんでいる学生かどうかという点にも、関わるかも知れない。